

議会が **もっと** / 近くなる

# 市民の声

ダンス編①



小林香織さん  
(車いすダンスインストラクター)

1992年に北信越で初めてできた車いすダンスの団体で、私の父が活動をスタートしました。車いすの方が参加しやすいよう、移動をサポートする政策をもっと展開してほしいですね。議会だよりは、市の政策を見たりするために毎回読んでいますし、そこから市の動きに寄り添った内容の企画なども行っています。

活動は月2回、吉田産業会館と中央公民館で。車いすを利用されている方もそうでない方も、一緒に楽しみながら練習しています。ダンスに興味のある方はぜひ一度遊びに来てください。



●ご協力ありがとうございました。(編集委員一同)



議会だよりは  
毎回欠かさず  
見ています！

藤田 協さん  
(燕舞実行委員会)

燕市にダンススクールがなかった20年前、独学でダンスを学び指導者としてダンススクールを始めました。議会だよりは毎号欠かさず見ており、市政に対しては、施設の利用予約の利便性を向上してほしいという思いがあります。日中が仕事の方でもそうでない方でも、公平に利用予約できる環境が整備されることを願っています。



## FROM EDITOR

編・集・を・終・え・て

市民の声の取材では、より活気ある活動の様子を伝えるため、写真撮影に工夫を凝らしました。取材回数が増え、ご迷惑をおかけしたかもしれませんが、素晴らしい活動シーンを捉えることができました。今後もより親しみやすい情報をお届けできるよう、努力を重ねてまいります。



(小林秋光)

議会にみんなの声を！

1分アンケート実施中。

たくさんの声、お待ちしております！



## COVER STORY

今・号・の・表・紙

5月5日は「こどもの日」。僕は少年の頃、空を飛んだんだ。お兄ちゃんのマネをしてブランコをこいでこいで体が地面と水平になる位こいで、両手をパッと離すんだ。一瞬だったかもしれないけど、空を飛べたんだ。ふわっとね。



高齢者や視覚の弱い方に配慮したユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しています。

¥FREE (for 燕市民)  
燕市議会 TSBN15213-2024

